

ふくしま青年海外協力隊の会

NEWS 2014

今年度、当会が主催/協力/参加した数々の事業、イベントをOVのエッセイから振り返ります。

01

会長挨拶

大震災から早くも3年目を迎えることとなります。2月は2週続けて週末の大雪により、災害に対する心構えが薄れていた自分に気づかされました。しかし、思い出すと昨夏も猛暑やゲリラ豪雨が多発していたはずです。これらの現象が日常化しており、異常と思える天候にいつの間にか慣れてしまっていた感があります。インターネットで改めて「異常気象」を検索してみると観測史上最高だの、何年以来のという表現でこの1年間だけでも世界中で顕著に異常気象と思われる記事があり、その数の多さと広がりには驚かされました。ひと昔前、ダイオキシンが社会問題になった時に、環境問題を考える動機づけに使われた「水蓮の成長」の謎かけ話を思い出しました。皆さんの知っているあれです。「池の中で、毎日の2倍に成長する・・・30日で池を覆い尽くして・・・。」

(「成長限界」ローマクラブ「人類の危機」レポート)

これを思い出したために、私は根拠のない不安を抱いてしまいました。さて、私たちのOV会活動を大別すると懇親、開発教育、自己啓発、募集協力になりますが、どれかひとつでも皆さんの満足できる活動はありましたか。帰国してからが本当の協力隊活動として活躍機会を提供できていましたか。私は、やはり開発教育にもっと関わり勉強したかったと反省しています。次年度は、開発教育の担当者間で野外活動

(キャンプ)を通した開発教育の勉強会も話題にあがっているようです。来年度こそは、今年度の反省を生かしてがんばって参加し、勉強していきたいと思っています。JOCAでは、50周年を迎えるにあたり映画の作成、国内版協力隊事業、NPO法人化の推奨など、事業の見直しを進めており、今後、各県OV会の進むべき方向も問われてくると思われます。会の積極的な活動が継続できるよう協力して行きましょう。今年度1年間、役員の方、各事業を担当された皆さん有難うございました。

小杉 誠 (59-2 ネパール)



Contents

- 01 会長挨拶
- 02 留守家族連絡会
- 03 開発教育研修会
- 04 結・ゆいフェスタ
- 05 徳島サマーキャンプ
- 06 ユース国際協力ミーティング
- 07 JICA エッセイコンテスト
- 08 ふくしま応援ツアー
- 09 東北ブロック会議
- 10 地球体験キャラバン

発行：ふくしま
青年海外協力隊の会
発行日：2014/4/18
編集：金山忍 (21-4 タイ)
HP：http://foca.jocv.net

02

留守家族連絡会 1/18 二本松市市民交流センター

1月18日（土）、二本松市市民交流センターで留守家族連絡会が開催され、開発途上国で活躍している福島県出身隊員の留守家族を対象に6家族8名にお集まりいただきました。プログラムの内容は、JICA 二本松吉村課長より JICA ボランティア事業の説明や JICA 東北進路相談カウンセラーから帰国後進路の現況についての説明を頂き、福島県内で JICA ボランティアを支援している協力団体からもご挨拶を頂きました。その後、個別懇談の時間を設け、国の様子、派遣中不安に思っている事など、多くの FOCA メンバーにも協力を頂き、留守家族と親睦を深める機会にもなりました。



大内伸代 (21-1 ザンビア)

03

結・ゆい・フェスタ 2013 9/22 福島市 A・O・Z アオウゼ

県内在住の外国人や国際交流・協力 NGO による展示交流ブース、世界の音楽やダンスのステージ、世界各国の料理など、国際交流の楽しさを共有できるイベントです！



04

開発教育研修会 1/19 二本松市市民交流センター

この度は講師として呼んでいただき心から感謝しております。全国にいる、OV、関係者とのふれあい。そして、出前講座について共に試行錯誤することは、僕にとって喜びであると再確認することが出来ました。ありがとうございました。我々の JICA ボランティアの経験はとても貴重です。人々を感動させ、子ども達の人生に大きな影響を与えるポテンシャルがあると思います。しかし、聞き手に届けるには、いい活動を話すだけではダメで、上手に伝え・見せる工夫が欠かせません。ニーズ・興味関心を把握しなくてはなりません。もちろん地域ごとに状況・課題は異なりますが、やはり「いいもの」を提供していきたいですよね・・・。そして、我々、運営に関わる人間は、一人でも多くの帰国隊員が、少しでも上手に授業が出来るようないろんな角度からサポートしないといかんのだなあ。。。。再確認できました。でもなにより福島の皆さんと熱く、楽しい時間を過ごせたことがうれしかったです。

講師：八島敬 JICA ひろば 市民参加協力調整員

05

徳島サマーキャンプ 8/2-6

2013年8月、福島県の高中生と一緒に徳島へ行ってきました。この徳島サマーキャンプは、徳島県青年海外協力隊OB会とJICA 四国支部の協力で行われ、今年で2年目となりました。研修は「葉っぱビジネス」で有名な徳島県上勝町で行われ、参加した高校生達は協力隊経験者や上勝町民、地元の高中生や中学生と交流しました。知らない土地で知らない人々と関わりながら、自分の力で人間関係を築き、日々遅しくなっていく福島の高校生の姿をみることができ、引率者として非常に嬉しい気持ちになりました。今回のサマーキャンプで出会った仲間との絆を大切に、この経験を今後の生活に活かして欲しいと思います。

内山光晴 (22-3 セネガル)

06

ユース国際協力ミーティング 9/28-29 JICA 二本松

昨年9月28日(土)・29日(日)の二日間、県内から集まった高校生を対象に、JICA二本松に於いて「ユース国際協力ミーティング2013」が開催されました。OV会からはJICA職員も含め13名ものスタッフが参加しました。講座『世界がもし100人の村だったら(高橋司 OV)』『貿易ゲーム(三上博史 OV)』『協力隊体験談(清水聡子 OV・渡部久美子 OV・渡邊亮 OV)』等を通し、高校生たちも「自分たちにできる国際協力」について真剣に考えることができました。今後もより多くのOV会メンバーで力を合わせて、一人ひとりの思いやアイデアを存分に発揮できるユースにしたいと思います。ご協力よろしくお願いいたします。

松本大光(21-1 モンゴル)

07

JICA 国際協力中学生エッセイコンテスト 10/20 原釜幼稚園講堂



JICA国際協力中学生エッセイコンテスト2013の福島県1次審査会を平成25年10月20日(日)、相馬市の高橋司さんの勤務する「原釜幼稚園講堂」で行いました。今年のテーマは「世界と日本の幸せのために—私がしたいこと、すべきこと—」です。1615作品から10作品を選出し、東京の2次審査へ送りました。今年度はテーマが大きすぎるせいか「平和」「戦争・内戦」が多く、国際協力に関する作品は「募金」「エコキャップ」「プルタブ」「フェアトレード」など学校で取り組んでいる内容が中心でした。一年ぶりに松川浦を訪れました。審査会を支えてくれた高橋司さんと鈴木進一さんに感謝です。(審査員は、一般審査員の竹島さん、高橋司さん、清山真琴さん、植木恭子さん、金山協子さん、渡辺英彦さん、八巻亜梨沙さん、菅野良浩さん、小杉誠会長、橋本千賀子さん、齋藤智恵子)

齋藤 智恵子 (8-1 タイ)

08

ふくしま応援ツアー 11/22-23



震災後の福島県内の現状を全国のOVに知っていただきたいと2012年3月から実施してきたツアーも今回で3回目！相乗効果を狙って11月22～23日に行い、JOCA東北ブロック会議と合流しました。全国から42名のOVにご参加いただきました。今回は、渡邊次男OBと、カンベンガ マリールイズさんに講話をしていただき、友田洋OBと清山真琴OGが車中でガイドを務めてくださいました。その他、ツアーへの同行や東北ブロック会議への参加等、当会の皆様にご協力頂き、参加者と福島在住OVが交流できたことにより、私達の思いは十分伝わったと思います。ツアーも3回目なので、福島の苦悩だけでなく、新しい取り組みや強さも見ていただきたいと思って情報を収集し、2日目には南相馬ソーラー・アグリパークを視察。半谷栄寿代表の志の高さとパワフルなプレゼンテーションに、福島の新しい力を感じ取りました。このツアーは、私達にとっても福島の現状や課題を知り、お互いに元気をもらうための大切な機会になっているように思います。福島のために何かしなければ、という思いだけでスタートしたこの企画も、皆様のおかげで回を重ねることができました。第5回まで継続できたらと考えています。

小熊則子 (2-3 サモア)

09

東北ブロック会議 11/23-24 南相馬

(公社) 青年海外協力協会評議員東北ブロック会議が11月23日(土)～24日(日)に本県の南相馬市で開催されました。東北ブロック会議は、毎年各県持ち回りで開催され、東北各県の会長や役員が出席しています。会議では、来賓のJICA二本松北野所長より挨拶とJICA事業報告がありました。青年海外協力協会からは、事業中間報告があり、協議事項として、青年海外協力隊への応募促進事業について、各県で取り組んでいる「協力隊ナビ」や「ポスター配布」等について意見交換されました。応募者が少なくなっていること、「協力隊ナビ」では、各県とも苦心して取り組んできていることが報告されました。東北の被災地で多くのOVが活躍し、高く評価されていることも報告されました。また、東北ブロックの「NPO化」についても話題提供されましたが、今後も継続協議していくことになりました。夜の懇親会は、「ふくしま応援ツアー」に参加している皆さんとの合同で開催され、思わぬ出会いがあちらこちらでありました。これからも、「青年海外協力隊創設50周年」に向け、東北各県で協力・連携して活動していきたいと強く思いました。 齋藤誠一 東北ブロック副幹事

10

地球体験キャラバン 12/14 月館公民館

今回のキャラバンは、参加者がなんと80名の大人数ということもあり、OV9名及び国際交流員3名という豪華な布陣で臨みました。恒例の「現地語で自己紹介～外国人は何人いるのかな?～」に始まり、任国及び母国についての〇×クイズ、ちょっとやそっとじゃ聞けない外国のお話、最後は「地球の輪」。まさに、私達スタッフと参加者が一つになった瞬間！普段の生活とはちょっと離れた世界についてのぞいてみる、そしてみんなで共有する。そんな貴重なひとときでした。菅本裕介 (18-3 ブータン)

